

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和
新潟県山岳協会
新潟市南区鷺ノ木新田1049
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野亘寛
TEL 0258-52-3998

第31回 北信越国民体育大会報告

競技委員長 稲田春男

7月24、25日に富山県で大会が開催され、24日はボルダリング競技が富山市のクライミングジムゲッコーで、25日

リード競技が南砺市桜ヶ池クライミングセンターで行われた。会場には選手のご両親、県体協関係者等大勢の方が駆けつけ、おとなり富山県での大会であったが、新潟県で大会を行っているようだった。

まず、初日のボルダリング競技。会場内が狭い、そして暑い、そんな中で競技が始まった。成年女子は順当に行けば新潟が頭ひとつ出ていると誰もが予想していたが、惜しくも長野に破れ2位に終わった。少年男子は昨年の選手が残っている富山、長野が強く、健闘したが4位。緊張の為に、選手にミスが出てしまったのが惜しまれる。少年女子は同年代で日本代表選手(全元登)を擁する福井が強かったが、なんとか2位に食い込めた。

今年の北信越ブロックに与えられている千葉国体出場権は各別で2位までだ。ボルダリング競技の結果を見ればリード競技もある程度予想がつく、リードで2位を確保すれば成女と少女はブロック突破が可能だ。しかし私の頭の中では「今のところ、少年男子はよっぽどのことがない限り逆転は無理だろうな」。

「成年女子はどうした、調整が悪かったのか？動きが悪いぞ」。「少年女子は思ったより体が動いている、いいぞ」。

「さあ、明日のリードは？」といったような具合で分析、作戦、妄想(?)が入り交ざり渦巻いている。こんなときは監督よりも選手のほうが落ち着いて見えるのは気のせいだろうか。そして、いよいよ

リード競技。少年男子と少年女子が左右の壁に別れて同時進行でスタート。少年女子の1番スタートは福井、予想どおり1人が完登、3番目に新潟、まず高橋がスタート、苦労していたが見事完登、歓声が沸きあがる。高木も力強い登りで高度を稼ぐ、3チームが終わって個人4位、福井が

個人1、3位。新潟は個人1、4位。この時点で福井に次いで2位。最後チームの1番選手がスタートした、隣の壁では少年男子の競技が行われている。が、皆こちらに注目している。1番目の選手が新潟選手よりも低い位置でフォール。この時点で最終2番目の選手の登りを待つまでもなく少年少女の3年連続本国体出場が決まった。少年男子は健闘むなく4位。だが中学生の南雲が強豪ひしめく中、個人4位になったのは賞賛できる、更なる飛躍を期待する。

さて、成年女子はどうなったのか。競技は少年女子のルートをさらに傾けて行われた。まず富山がスタート、そして

長野、福井、次が新潟。3チーム終了して長野が1位、2位が福井、ボルダー成績は1位

長野、2位新潟、3位福井、ここで新潟が2位になれば出場権獲得は確定になる、応援にも力が入る。まず片桐、ボルダーでは個人1位になっている、期待しよう、だが高度

が上がらず個人4位タイ。瀧澤も健闘したが片桐まで届かず個人6位タイ、まさかのリード3位。さあここからが大変、福井と新潟が総合順位で2位と並んでしまった。一瞬間い雲囲気になったが、競技ルールに基づき、(総合成績が同順位の場合、個人順位の合計で決定)新潟県が辛うじて5年連続出場権を手に入れた。

選手、監督はもちろん、遠藤会長始め、周囲から安堵の聲が上がる。最後になりますが大会会長挨拶のなかで、服装(サンダル等)、マナー(挨拶、集合等)を良くするよう

にとお話がありました。

◇選手コメント
少年女子 高木茜選手
自分自身の後悔のないクライミングを出来たことが、一番うれしかったです。千葉国体でも後悔のない登りを行いました。

◇選手コメント
少年女子 高木茜選手
自分自身の後悔のないクライミングを出来たことが、一番うれしかったです。千葉国体でも後悔のない登りを行いました。



北信越大会健闘した選手達と役員

第65回 千葉国体

競技会場 印西市松山下公園総合体育館
千葉県印西市浦部275

- ◆日程 10月1日～10月4日
- 1日 選手受付。監督会議
 - 2日 リード…少年男子/少年女子/少年男子(決)
ポルダ―…成年男子/成年女子
 - 3日 リード…成年女子/成年男子
ポルダ―…少年女子/少年男子/成年女子(決)
 - 4日 リード…少年女子(決)/成年男子(決)
成年女子(決)
ポルダ―…少年男子(決)/少年女子(決)
成年男子(決)
- 表彰式

- 少年女子 高橋英理香
皆さんの応援のおかげでい
い登りが出来ました。千葉国
体では8位以内入賞を目指し
ます。
- 「総合成績」
- 1位 長野県 2位 新潟県
 - 2位 福井県 4位 富山県
 - 5位 石川県
 - 少年男子
 - 1位 富山県 2位 長野県
 - 3位 石川県 4位 新潟県
- 5位 福井県
少年女子
1位 福井県 2位 新潟県
3位 富山県 4位 石川県
- ▼千葉国体出場者名▲
- 成年男子 監督 藤田裕子
選手 渡辺訓臣 宮口直樹
 - 成年女子 監督 今井浩二
選手 片桐麻由子 瀧澤愉未
 - 少年女子 監督 稲田春男
コーチ 真島智宣
選手 高木茜 高橋英理香

中国・青海省 玉樹県大地震 の現場訪問報告 『2』

新潟県山岳協会副会長 片桐一夫

玉樹県結古鎮には午後10時を回ってようやくたどり着いたが、街灯はない。暗闇の中、パーキングライトを点滅している車があり、それが出迎えてくれた張国強さんの車だった。張さんは「玉樹県人民代表大会常務委員会主任」の肩書きで、ここでは第2位の権力を持つ方だ。張主任の車が先導してくれ、もうもうと立つ埃の中、どこをどう走ったか、とあるテントの前で停まった。ここが張さんの寝起きしているテントだった。夜遅くの到着だったが、10名くらいの関係者が我々を出迎えてくださり、1時間ほどの打合せをやらせてもらった。張主任は、自分の寝泊りしているテントに私と桜井さんに寝るよう勧めてくれ、自分はどこかに行ってしまったのである。翌朝、晴れてさわやかな朝を迎えたが、ここは標高3700m。富士山の頂上と同じ高さで空気が薄い。あたりを見渡すと、『民政救災』と白く書かれた青いテントが乱立していた。まともな建造物は皆無で、住民はほとんどテント生活。北京の中央政府は復興のため、玉樹県の年間予算の100倍のお金を投じる計画で、3年間で復興することを目標としていた。朝食を張主任と一緒に戴きながら、話を聞いたところ、この住民は97%がチベット族で、13万人の住民が生活している。2742名の人々が地震のため、亡くなられた。地震から2ヶ月が経過していたが、全国各地から救援物資が届けられており、両親を失った孤児のためのプレハブ校舎も建設されていて、250名の行くところの無い子供たちがここに居るといふ。

朝食後、張主任は多忙な仕

JTB Your Global Lifestyle Partner

70th Anniversary

JTB関東 法人営業新潟支店
新潟市中央区古町通6-976
TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775
<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>
※“旅”の最新情報、ご覧になれます。
E-mail:h_mitani388@jtb.jp

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

ICI 石井スポーツ 新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

事のため出かけたが、運転手付き専用車を我々のため使わせてくださった。案内・通訳をしてくださる鄧さんの提案で町の中を検分させてもらい、写真を撮った。レンガまたはコンクリートブロックを積み上げただけの家は、ほとんど原形をとどめていない。瓦礫を片付けたところに青いテントがあり、そこに人が生活している。高台にあるチベット仏教のお寺から街全体を見渡すと、廃墟となった町が青いテント群に染まっていた。インフラとしては、すでに銀行と郵便局が機能していて、行政機構はプレハブの庁舎があった。水道は共同利用の形で要所にあり、トイレもまた、共同利用のニーハオトイレで一回5角(0.5人民元)の使用料が必要。97%のチベット族が住む町の治安維持と交通整理の目的で、中国各地から派遣された大勢の警察官が復興作業で混雑している道路の要所に見られた。

主要道路には、テント張りの商店が並んでいて、食料品店・雑貨商店などがあり、物資には困っていないように見られたが、お金の無いチベッ

ト人は品物を買うことが出来ない。

町の現状を見た我々は、次にいよいよ『玉樹州孤児板房(プレハブ)学校』へ出向いた。事前に玉樹県人民代表大会常務委員会へお願いして「決定していた奨学金贈与予定の子供たち」に会うためである。この学校では4名の子供たちが居た。地震で両親を失った子供たちを先生が連れてきた。鄧さんが通訳をしてくれ、私が一言、ふたこと聞いているうちに、その女の子の目に涙があふれ始めた。感極まったのだろう。私も涙が出始め、どうしようも無かった。この子供達には、奨学金などより、どうやって生きてい



地震地の孤児たち

くかが問題なのだ。私は、『このお金を勉強のために使ってください。』と言ったがカッコ良すぎるセリフだったかもしれない。ご協力いただいた皆様からの30万円は、両替して21654.3人民元になっていたもので、7名の子供たちに3000人民元ずつ贈呈予定だった。平均的チベット人家族の年間収入くらいだろう。さて、残りの3人が居ない。我々は贈呈場所を張主任のプレハブ事務所に移し、張主任も贈呈に立ち会ってください。夕刻4時半を回った頃に子供たちは、ようやく現れた。二人の学校の先生に付き添われ、5人も来た。先生は、『この子供達もかわいそうなのですよ!』。彼らは、ここから120km離れた「下拉秀」という村から朝8時半にバスに乗ってようやくたどり着いたという。8時間もかかっている。『バス代はどうしたの?』と、聞くと『村から借りてきました。』

予定していた3人に、3000人民元ずつ上げて、ついでに連れられてきた幼い姉妹には、残りの654.3人民元をプレゼントした。さらに、櫻井理事が用意してくださった板チョコレットを全員に1枚づつ上げて、記念写真も撮った。

私は子供たちと握手をして別れたが、このあと、張主任の秘書である巴德拉吉さんが、子供たちに食べ物を買って与えただろう。と、鄧さんが話してくれた。この子供達は、地震のとき、結古鎮に住んでいたが、地震で両親が亡くなつてしまい、120kmはなれた村に住んでいる親戚に引き取られたのだという。生きることに精一杯の人生だと思いが、無事に大きく育って欲しい。

夕刻、我々は大きな仕事が終わわり、テントに戻ったところ、張主任も戻られ、専属調理人がご馳走を作ってくれた。6月は日が長く、午後6時頃によりやく日が沈む。青海省特産の青稞酒を酌み交わし、いろいろな話を聞いた。大地震が襲い、被害甚大ではあったが、悲壮感を感じられず、彼らには活力にあふれる力を感じていた。きっと3年後には、立派な街が出来上がっていることだろう。子供たちの追跡調査もかねて、またここを再訪してみたいと思った。

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号 -IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員
本社: 新潟県長岡市東町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所

〒940-0084 長岡市東町1丁目3番5号
一般旅行業務取扱主任者 森 隆雄

☎ (0258)33-7123

□新潟営業所

〒950-0910 新潟市山3丁目2番11号
一般旅行業務取扱主任者 中島 登

☎ (025)246-2266

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



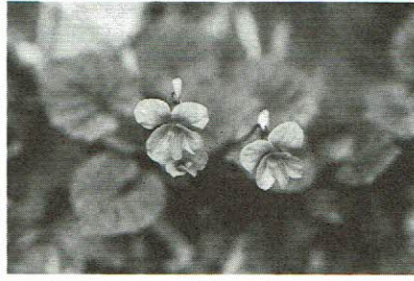
パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parmark.co.jp>



フィリミヤマスマイレ
佐渡 松倉山 5月21日



母種 ミヤマスマイレ
磐梯山 5月30日

◆ スミレ属 Viola
④9 フィリミヤマスマイレ

越後の山に見られる
変種植物

むささび会 加藤 明文

学名 V. variegata (多様に変化した)。この植物だけではどこに出現するのかわからない。佐渡の山に出たり、五頭山にあったりだ。母種はミヤマスマイレ (selkirkii ~人名) で紅紫色の花が咲き本県にも産する。本種は濃紅紫色の花をつけて葉は白い斑が入ることですぐに見分けが出来る。属名ビオラは紫の意。独名 Veilchen (ファイルヒエン~スマイレの意) 英名 Violet (バイオレット~紫、またはスマイレ色の意)

青海省玉樹県大地震義捐金寄付者・団体ご芳名

- | | | |
|---------------------|--------------------|------------------------|
| 橋本 正巳 (高田ハイキングクラブ) | 多田 政雄 (工友会) | △ゆきみ山の会 |
| 浅野 巨寛 (朝路の会) | 伊地知信人 (一峰会) | 茨木 弘 (長岡ハイキングクラブ) |
| 森 庄一 (長岡ハイキングクラブ) | 遠藤 俊一 (一峰会) | 野口 幸一 (長岡ハイキングクラブ) |
| 松坂 良一 (日本山岳会越後支部) | 遠藤家之進正和 (むささび会) | 諏訪 恵一 (長岡ハイキングクラブ) |
| 諸橋 実 (新潟楽山会) | サトウ ミツヨシ (群馬県山岳連盟) | 宮崎 幸司 (長岡ハイキングクラブ) |
| 早川 秀夫 (日本山岳会越後支部) | △南魚山岳の会 | 菊入 好子 (長岡ハイキングクラブ) |
| 本間 一人 (亀田山岳会) | 土田 幸雄 (長岡ハイキングクラブ) | 大西 浩 (長野県山岳協会) |
| 井口 光利 (見附山岳会) | 佐久間雅義 (下越山岳会) | 勝野 順 (長野県山岳協会) |
| 井口 礼子 (見附山岳会) | 藤井 信 (長岡ハイキングクラブ) | 菊入 好子 (長岡ハイキングクラブ) |
| 山田 智子 (越後山岳会) | 坂井 厚 (映彩山岳会) | 小林 富夫 (ユニオン航空サービス) |
| 本間 政一 (糸魚川山岳会) | 後藤 正弘 (高田ハイキングクラブ) | 小幡 松二 (崑崙倶楽部) |
| 山崎 幸和 (日本山岳会越後支部) | 加藤かずき (下諏訪山岳会) | 川崎 貞子 (崑崙倶楽部) |
| 酒井 定勝 (日本山岳会越後支部) | 渡邊 正之 (長岡ハイキングクラブ) | 木野本宏志 (長岡ハイキングクラブ) |
| 本間 文雄 (日本山岳会越後支部) | 松枝三枝子 (崑崙倶楽部) | 高橋 正 (ユニバーサルシステム) |
| 伊藤 明德 (高田ハイキングクラブ) | 山田 博 (崑崙倶楽部) | 鈴木 勝利 (崑崙倶楽部) |
| 目崎 貞良 (日本山岳会越後支部) | 七沢恭四郎 (高田ハイキングクラブ) | △新潟山岳会 |
| 常木 茂 (豊栄山岳会) | 北村 猛 (工友会) | 伊藤 直 (工友会) |
| 山本 陽子 (高田ハイキングクラブ) | ミオ アツシ (長野県山岳協会) | 今井 浩二 (新潟フリークライミングクラブ) |
| 坂野 雅之 (荒川ワンダーフォーゲル) | 小林 貞行 (長野県山岳協会) | 稲田 春男 (新潟フリークライミングクラブ) |
| 高橋 欣弘 (長岡ハイキングクラブ) | 内山しげゆき (長野県山岳協会) | 片桐 一夫 (長岡ハイキングクラブ) |
| 木村 英夫 (新潟楽山会) | △信濃高等学校 | 田中 栄弘 (長岡ハイキングクラブ) |
| 桜井 正一 (朝路の会) | △岡谷山稜会 | △新潟県山岳協会 |
| 小林 幸子 (朝路の会) | △下越山岳会 | |

敬称順不同